区政会議 防災・防犯部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
1	<p>ジュニア防災リーダー養成講習では、1時間図上訓練などの座学、1時間実技訓練を行っているが、それ以外にも何か取り組んでいるのか。</p> <p>防災リーダーには高齢の人が多く、新しい人を増やす方策や、地域で防災訓練のときだけではなく、防災のことについて意見をあげてくれる人をどのように増やしていけばいいのか考えているのか。</p> <p>先日小学5年生に行った防災授業で、18歳になれば防災リーダーになれる話をしたが、中学生のジュニア防災リーダーにも地域の防災訓練や防災活動に参加してもらおうのいい考え。</p>	<p>・ジュニア防災リーダー養成講習では、地域の防災訓練、防災学習会をお知らせし、参加を促している。ジュニア防災リーダー修了生のフォロー及び防災リーダーを増やす方法としては、例えばユース防災リーダーとして、ジュニア防災リーダーの修了生の中から地域で防災活動をしたいという人を集めて、区の広報紙やホームページの防災記事の作成や区民まつりでの周知活動からはじめ、徐々に地域活動に関わっていただくような、緩やかなボランティア活動から取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>・コロナで中止になったが、港晴小学校で区内の課題解決の取り組みとして防災をテーマに津波時に家から津波避難ビルへのルートで、落下や転倒の可能性がある物などを確認し、安全・危険ポイントを見つけてもらう予定だった。今後は、防災シミュレーションゲームや災害時に有効なLINEの使い方などを中学生や若者が高齢者に教える取組などを考えていきたい。</p>	同左	協働まちづくり推進課
3	<p>事業所や作業所に通所している方も地域に対して何か役立てることはないか、できることはないか考えて生活されている。</p> <p>得意不得意はあるが、障がいのある方も地域のことをよく知る一人であり、災害時に声をかけるべき人や気になる人とのつながりを持ってもらえる力はあるので、役割を担ってもらえるような活動が広がるシステムを考えていく必要がある。いい形で巻き込んでいければいいと思うがいかがか。</p>	<p>地域では、災害時の障がいのある方への支援について日ごろから考えられている。個人情報保護の壁があり、災害時にはなかなか全員の方に確認が取れないため、<u>見守りマッピング</u>※の取組みを通じ、日ごろから地域と、障がいのある方や高齢の方で支援が必要な方との顔の見える関係を作っていきたい。</p> <p>災害時には助けてもらうという意味表示が大切という啓発を行うとともに、障がいのある方や高齢の方の避難時における個々の事情は違い、様々な災害対応を可能にするためにアドバイスをいただきたい。</p> <p>※見守りマッピング：日頃、地域の見守り活動を担っている人たちと地域の防災を担っている人たちが集まる場を設けて、地域ごとの高齢者や障がい者および気になる人を住宅地図上にしるしをつけながら、要支援者の状況の共有を行い、地域別に安否確認の担当グループを決めていく取組み。</p>	同左	協働まちづくり推進課
4	<p>地域防災計画資料編の9ページに、災害時避難所内救助資器材保管場所一覧表とあり、一部一階に保管しているところがあるが、海溝型の地震で津波が来た時にせっかくの備蓄が使えないことになるがいかがか。</p>	<p>3階以上に倉庫を確保してもらうよう要請はしているが、1階に大きな倉庫があり、3階の教室は使っていて空けられないなど学校側の施設の事情がある。引き続き、3階以上に保管できるよう学校に働きかけていく。</p>	同左	協働まちづくり推進課
5	<p>区役所から支給される備品以外に、地域独自で簡易ベッドやパーテーション等持っているところは把握しているのか。</p> <p>次に区役所でどのようなものを購入するか事前に教えてほしい。</p>	<p>地域でも独自に防災物品を購入していることは承知している。必要なものは区役所に言ってもらえば、購入を検討するのでご相談いただきたい。</p> <p>また、区で新たな備品を整備する場合は、地域独自の物品と重ならないよう購入前にできるだけ事前にお伝えしながら進めていく。</p>	同左	協働まちづくり推進課
6	<p>八幡屋公園の地下に災害時のマンホールトイレがあると聞いている。どのようなものか。</p>	<p>マンホールトイレは、大きな公園など広域避難場所に整備されており、市内では広域避難場所34か所のうち29か所に整備されている。港区では八幡屋公園内に51か所のマンホールトイレがある。</p> <p>発災時には市で設置し、区民に使用していただくが、これまで啓発、発信ができていなかったため、八幡屋公園周辺の地域には防災訓練、防災学習会の際に伝え、区ホームページや広報紙でも周知していく。</p>	同左	協働まちづくり推進課

区政会議 防災・防犯部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
7	<p>高齢者の特殊詐欺の取組みもちろんであるが、若年層もSNSで色々なそれっぽい話や手口を仕掛けられている。学校等教育機関でもSNSの怖さを伝えていると思うが、より具体的にこういったことは危ないとか、こういう文面には注意するなど、若年層に向けたSNSリテラシーや防止啓発など、もっと学校外でも学習できる機会があればいいと思うが、実際に小中高で取り組んでいるとか、港区の中では何かあるのか。若い人に話を聞いてもらうためには、クラブ活動や遊び感覚の中で伝えることが必要。</p>	<p>消費者センターが地域に向いて講習会を実施しているが、地域対象であり、若者を対象としていないため、若者への啓発については、区のHPや区広報紙での啓発記事の掲載をしていく。</p>	<p>同左</p>	<p>協働まちづくり推進課</p>